



クライアント 操作マニュアル

C00-05 グラフ画面

株式会社 NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	C00-05_0
1.画面について	C00-05_1
2.基本操作	C00-05_2
2-1 集計表からグラフ表示	C00-05_2
2-2 主な機能	C00-05_3
◆切替サイドバー	C00-05_3
◆行列切替	C00-05_4
◆配置設定	C00-05_4
2-3 グラフの編集	C00-05_5
◆印刷/データ出力	C00-05_9

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

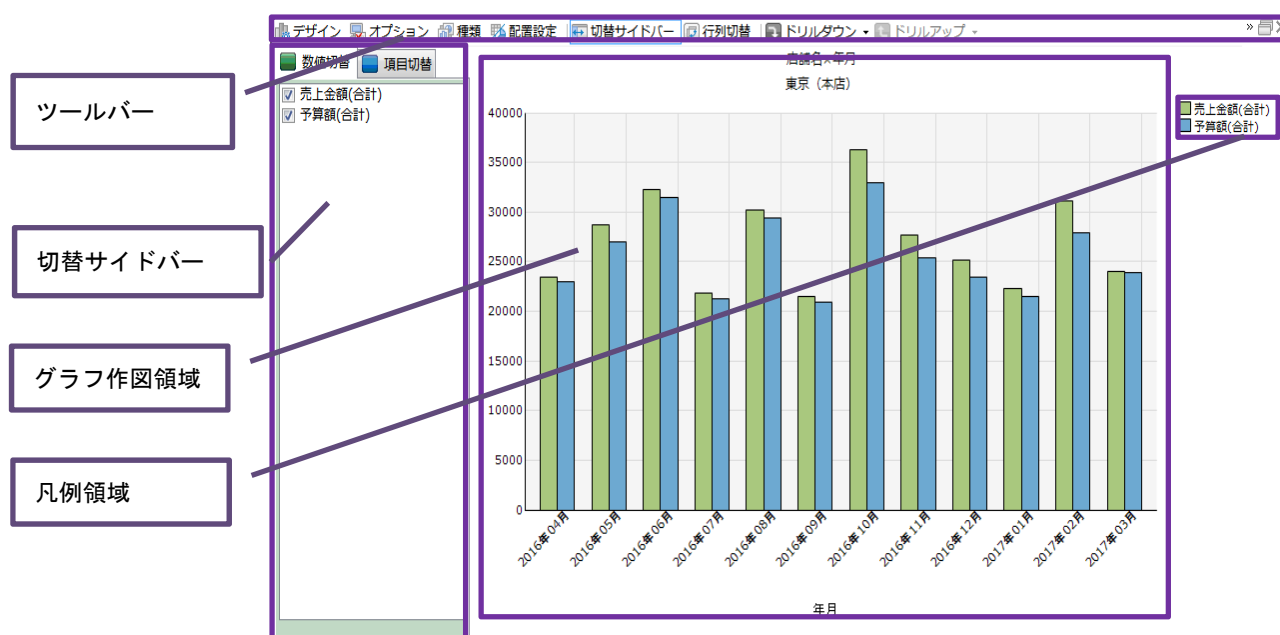
◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. 画面について



グラフを表示する画面は、次の要素で構成されています。

■ ツールバー

グラフ画面で利用する機能アイコンが並んでいます。表示/非表示を切り替えられます。

■ 切替サイドバー

数値切替、項目切替、グラフ切替に使用します。表示/非表示を切り替えられます。

■ グラフ作図領域

項目軸、数値軸、グラフフォーム、表題、副題を表示する領域です。グラフを作図できない場合はその旨のメッセージが表示されます。

■ 凡例領域

凡例を表示するための領域です。

2. 基本操作

リスト集計やクロス集計で表示されている集計結果をグラフで表示します。グラフの種類や、表題・副題といったグラフ周りの設定はもちろんのこと、グラフ上で描画対象データを切り替えるなど、様々な視点からデータを確認することも可能です。

2-1 集計表からグラフ表示

リスト集計表、および、クロス集計表の結果をグラフで表示します。ドリルダウン分析や視点の切り替えなどが行えます。

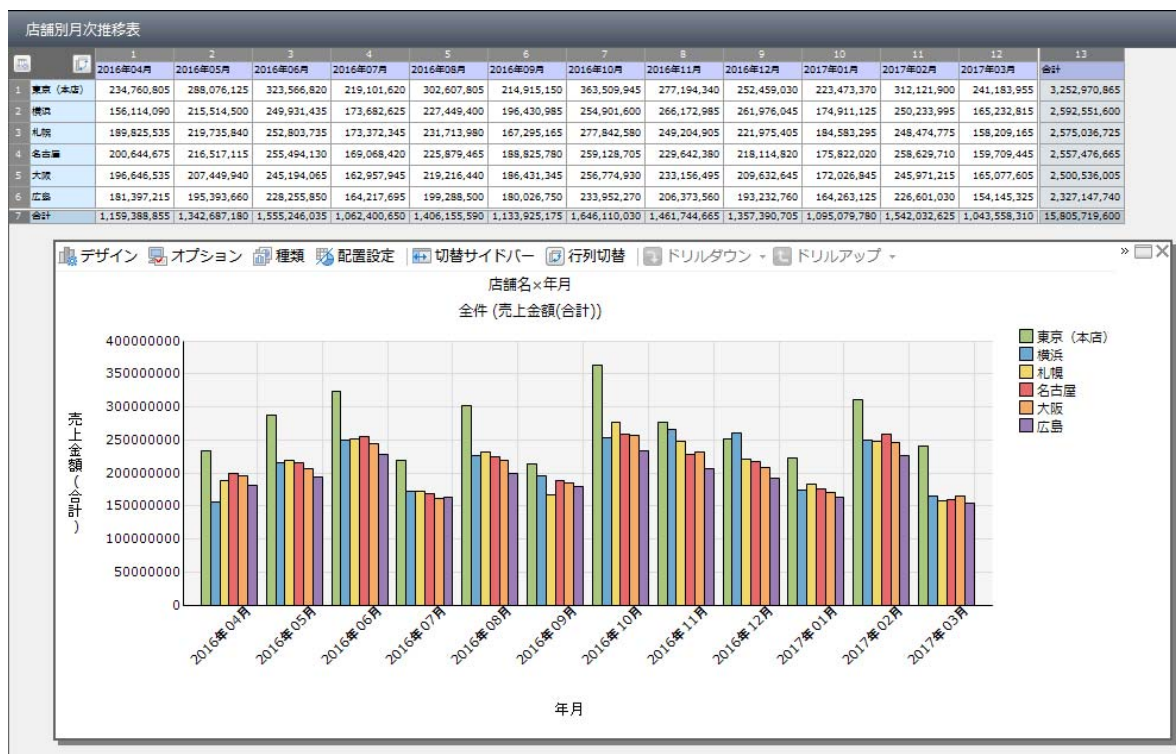
1



クロス集計表画面で[グラフ作成]アイコンをクリックします。

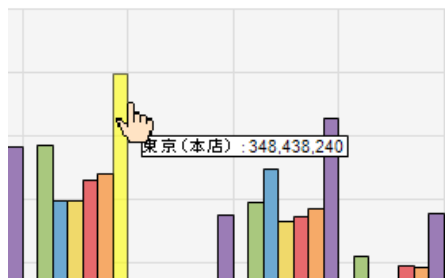
(メニューバー[グラフ]-[新規作成])

▼集計表を元にグラフが表示されます。



2

マウス・ポインタをグラフ要素の上にホバーすると、その要素がハイライト表示されて、データ内容をツール・チップで確認できます。



2-2 主な機能

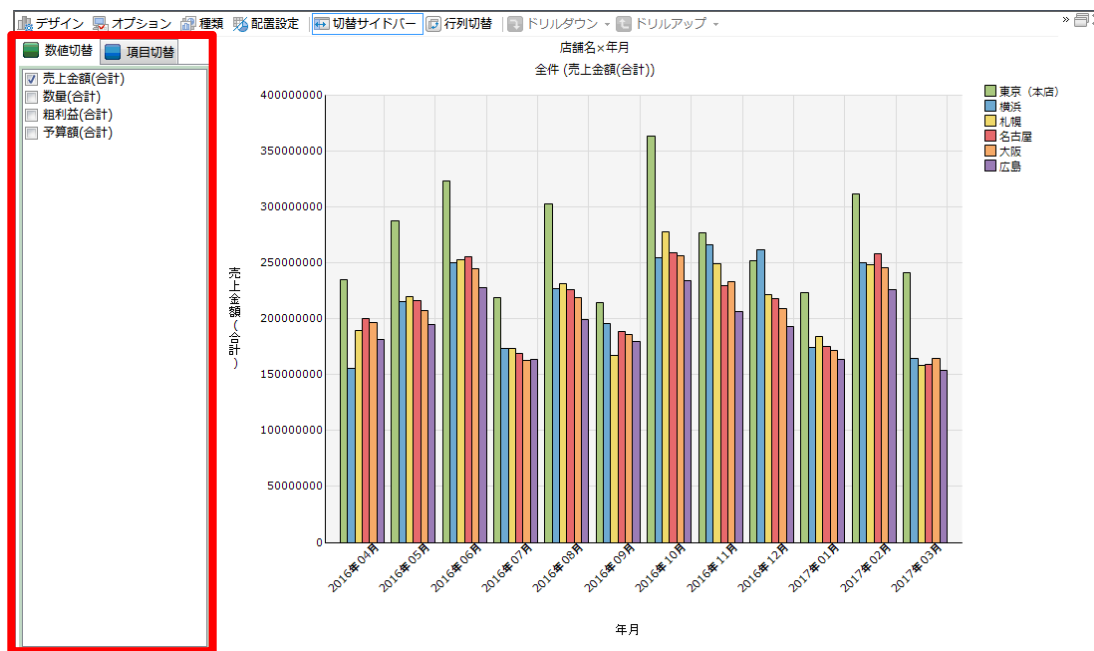
◆ 切替サイドバー

グラフ表示枠の左側に表示される切替サイドバーを使い、描画対象データを切り替えることができます。利用できる機能は表示中のグラフの種類によって異なります。

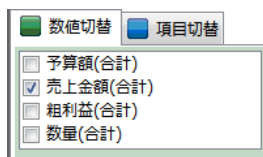


① [切替サイドバー]アイコンをクリックします。

▼[切替サイドバー]が表示されます。閉じるときには、もう一度[切替サイドバー]アイコンをクリックしてください。

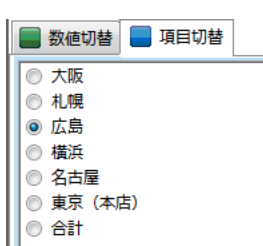


■数値切替



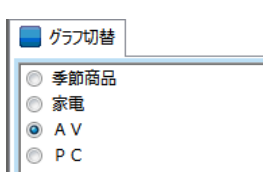
集計表に 2 つ以上の数値が集計されている場合に、グラフに描画する数値項目の切り替えや、追加を行います。

■項目切替



前述の[数値切替]にて、グラフに描画する数値項目を 2 つ以上選択している場合に、描画の対象とするデータ項目(要素)を切り替えることができます。

■グラフ切替



表示しているグラフの種類が次の場合にこのタブが表示されます。描画対象とするデータ項目(要素)を切り替えることができます。

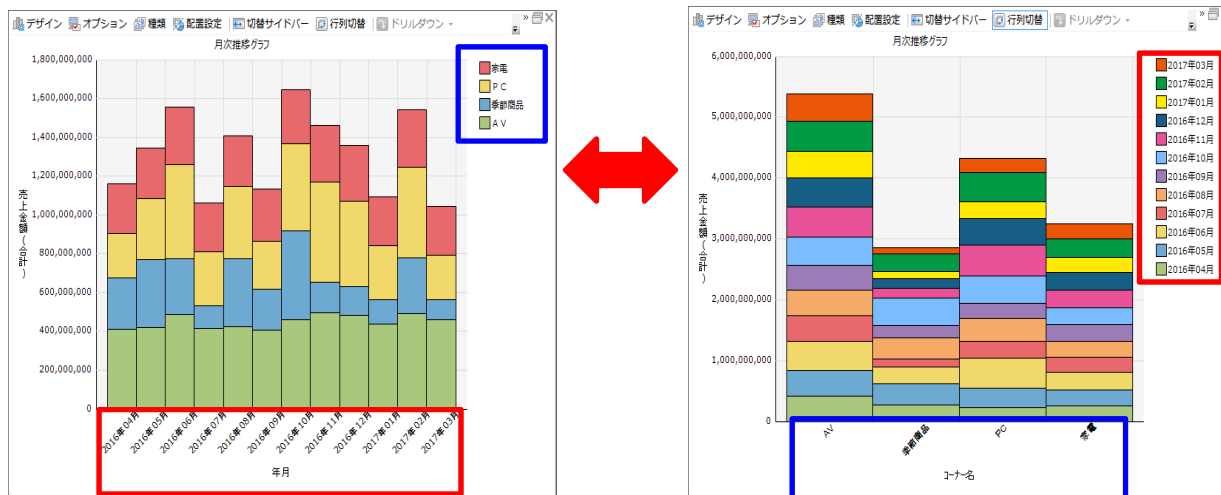
- ・標準円グラフ 2D (1 個で表示)
- ・標準円グラフ 3D
- ・ドーナツ円グラフ 2D (1 個で表示)
- ・ドーナツ円グラフ 3D
- ・パレート図 (1 個で表示)

◆ 行列切替

グラフの項目軸と凡例に指定されている集計項目(例えば、年月と店舗名)を、ワンタッチで入れ替えて描画します。

- ①  [行列切替]アイコンをクリックします。

▼行列の集計項目が入れ替わって表示されます。アイコンを再度クリックすることで元に戻ります。



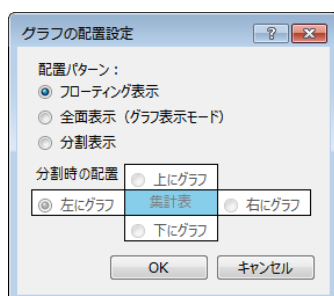
切替サイドバーの[数値切替]タブで、数値項目を複数選択している場合は、凡例が数値項目に固定されるため、項目軸の内容が行/列で入れ替わり、視点を変えたグラフを表示することができます。

◆ 配置設定

集計表の上に表示するグラフ画面の配置パターン(表示する位置)を設定します。

- ①  [配置設定]アイコンをクリックします。
(メニューバー[グラフ]-[配置設定])

▼[グラフの配置設定]ダイアログボックスが表示されます。



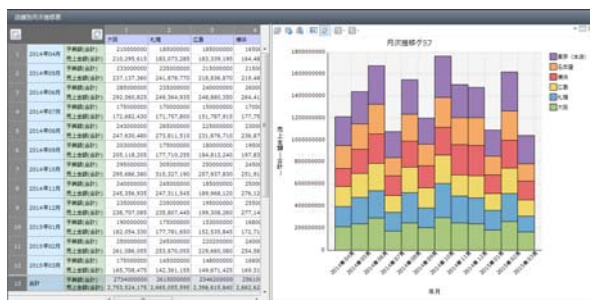
- ② 配置パターンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フローティング表示 : 集計表の表示枠内において、グラフ画面を自由に移動したり、サイズを変更することができます。

全画面表示(グラフ表示モード) : 集計表の表示枠全体を使ってグラフを表示します。

分割表示 : 集計表とグラフ画面を並べて表示します。「分割時の配置」で配置するスタイルを指定します。

▼選択した配置パターンに切り替わります。



グラフ画面右上の[フローティング表示に戻る]/[全画面表示]アイコンでも切り替えが可能です。

2-3 グラフの編集

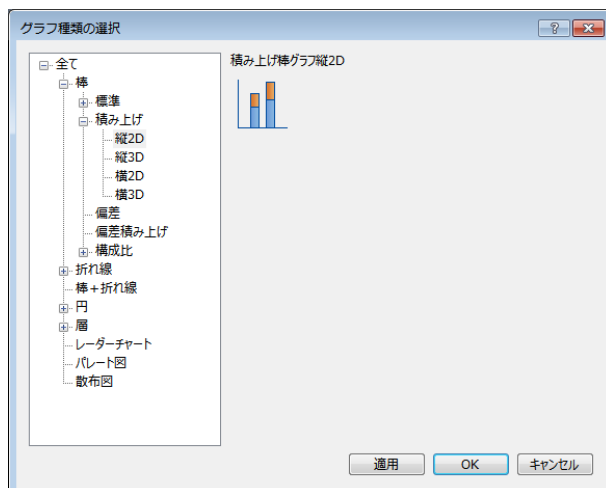
グラフ画面では、グラフの種類を選択できるほか、表題や副題、描画色なども簡単に編集できます。

1



[種類]アイコンをクリックします。
(メニューバー[グラフ]-[種類])

▼[グラフ種類の選択]ダイアログボックスが表示されます。



グラフの種類を選択すると、その場でグラフ画面が切り替わります。グラフ種類によっては初期値の設定を変更できるものもあり、[適用]ボタンクリックで、グラフ画面に反映することも可能です。

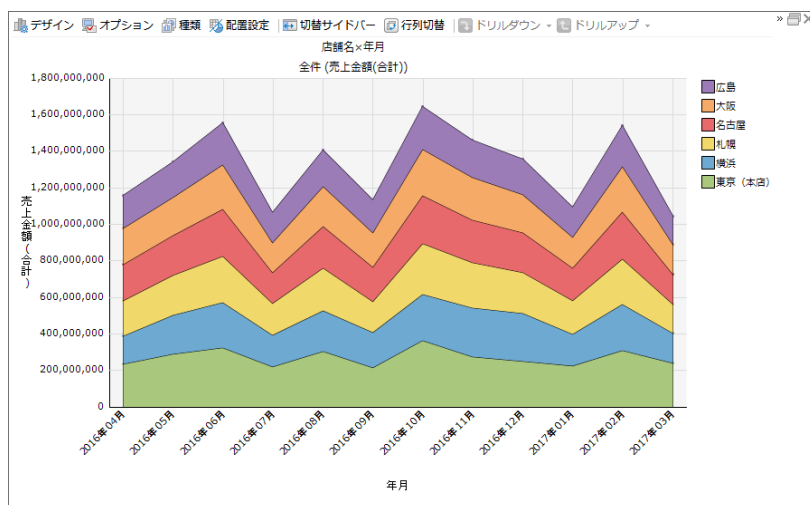


後述する「グラフデザイン設定」の[グラフの種類]タブでも設定が可能です。

2

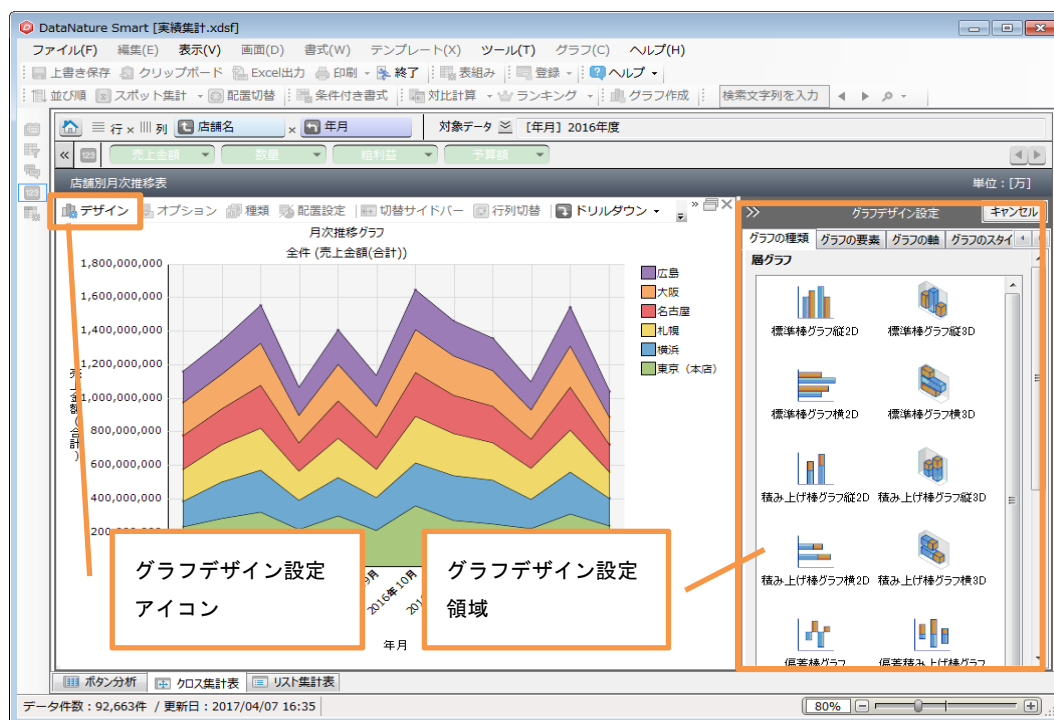
変更したいグラフの種類を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

▼選択した種類でグラフが表示されます。



3. [デザイン]アイコンをクリックします。

▼グラフのデザイン設定を行う領域が、画面右側に表示されます。



表題や副題、数値軸の値などグラフの表示に関連する情報を、タブを切り替えて設定します。設定した内容はその場でグラフへ反映されます。

なお、設定した内容を初期値に戻す場合は、各タブの下方にある[初期値に戻す]ボタンをクリックし、設定をやめる場合は、デザイン設定領域右上にある[キャンセル]ボタンをクリックします。

各設定を確定する場合は、デザイン設定領域左上にある[>>]ボタン、または、ツールバーの[デザイン]アイコンをクリックします。

4. ここでは、表題とグラフ要素の設定を例に記載しています。

■表題(グラフタイトルの編集)

[グラフのスタイル]タブ	
表題	表題として表示する文字列を入力します。「自動」をチェックオフすることで入力可能な状態となります。
☐ 自動	チェックオフすると、「表題」を入力(編集)することができます。チェックオンすると、クライアント・プログラムの既定値(文字列)が表題として表示されます。
☐ 表示しない	チェックオフすると、「自動」がチェックオフならば「表題」で入力した文字列が、「自動」がチェックオンならばクライアント・プログラムの既定値(文字列)が表題として表示されます。 チェックオンすると、表題は表示されません。

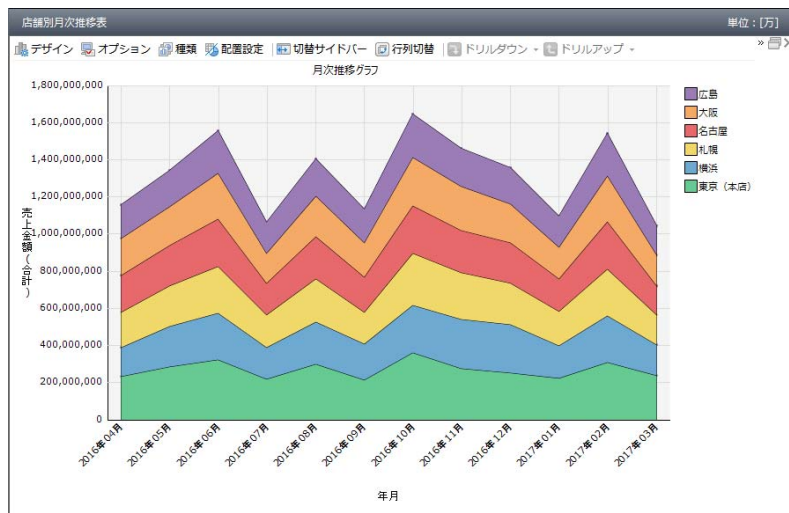
[文字の書式]タブ

フォント	表題として表示する文字列のフォント種別とフォントサイズを指定します。
------	------------------------------------

■グラフ要素(グラフの色や柄の編集)

[グラフの要素]タブ	
色	グラフ要素一覧の下にある色の[▼]をクリックし表示されるカラーチャートから選択します。または、グラフ要素一覧で対象の色のアイコンをクリックし表示されるダイアログボックスで設定します。
透過性	グラフ要素の色を透過する度合を設定します。

- 5 設定後、デザイン設定領域左上にある[>>]ボタン、または、ツールバーの[デザイン]アイコンをクリックします。
▼設定内容がグラフ画面に反映されます。



グラフデザイン設定について

[グラフの種類]タブ

グラフの種類を設定します。グラフの種類を選択すると、その場でグラフ画面が切り替わります。

[グラフの要素]タブ

グラフ要素の色やグラフ要素上に表示する値、ツールチップについて設定します。

全てのグラフ要素を設定の対象とする場合は、「全グラフ要素一括選択」をチェックオンします。

- | | |
|-----------------|---|
| グラフ要素一覧 | : グラフ要素の色を個別に設定します。 |
| 透過性 | : グラフ要素の透過度を設定します。 |
| 色、塗りつぶしタイプ、枠線の色 | : 色や塗りつぶしタイプを設定します。[▼]カラーチャートから選択します。塗りつぶしタイプは、無地/グラデーション/ハッチから選択します。 |
| 値表示 | : グラフ上に表示する値を設定します。値/凡例名/順位から選択します。表示位置は、内側/中央/外側から選択します。 |
| ツールチップ | : ツールチップに表示する内容を設定します。値・凡例名称・順位が選択できます。 |

[グラフの軸]タブ

項目軸・数値軸の軸名称やグリッド線、水準線について設定します。

項目軸

- | | |
|--------------|--|
| 軸名称(クロス集計のみ) | : 項目軸に描画対象の項目名称を表示します。複数階層が設定されているクロス集計では、標準(最上位階層の項目名称)/上位階層データ(直前にドリルダウンした項目名称)/上位階層データ(全ルート)(ドリルダウンした全ての項目名称)が、軸名称として指定できます。
※リスト集計表は副題に表示します。 |
| 項目名の表示方向 | : 項目軸に表示されているデータ名称の表示する向きを設定します。左向き縦/右向き縦/横(0度)/角度指定/縦書きから選択します。 |
| グリッド線 | : 項目軸のデータ間を区切るグリッド線を設定します。 |

数値軸

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| 軸名称(クロス集計のみ) | : 描画対象の数値項目名を表示します。軸の上部に表示することもできます。 |
|--------------|--------------------------------------|

- 範囲 : 数値軸の範囲を設定します。カンマ区切りで表示することもできます。
- グリッド線 : 数値軸のデータ間を区切るグリッド線(横線)を設定します。
- 水準線 : 水準線と目標値を設定します。

[グラフのスタイル]タブ

表題や副題、背景色、凡例について設定します。

- 表題 : 表題を設定します。「自動」をチェックオフすると、表題が入力できます。
- 副題 : 副題を設定します。「自動」をチェックオフすると、副題が入力できます。複数階層が設定されているクロス集計では、標準(最上位階層の項目名称)/上位階層データ(直前にドリルダウンした項目名称)/上位階層データ(全ルート)(ドリルダウンした全ての項目名称)が、副題として指定できます。
- グラフの背景色 : グラフ全体の背景色やグラフ描画領域の色を設定します。
- 凡例の表示 : 凡例を表示します。表示位置は、上/下/左/右から選択します。凡例枠やグラフ描画領域と凡例の表示領域の割合を設定することもできます。

[文字の書式]タブ

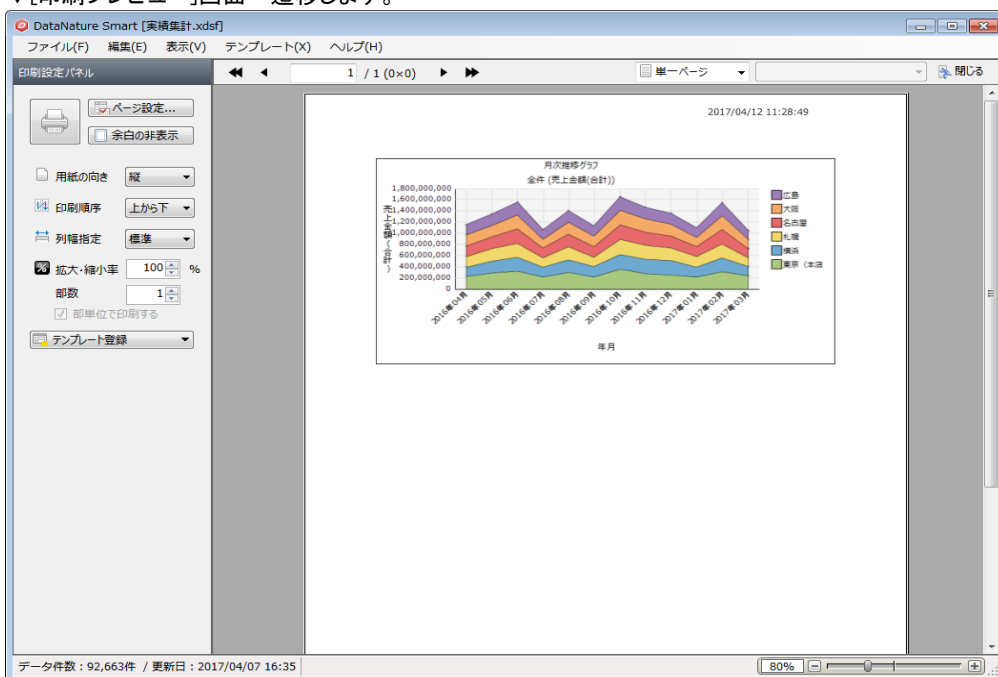
グラフに表示する文字列のフォント種別とフォントサイズを設定します。

◆ 印刷/データ出力

作成したグラフを印刷することができます。ここでは印刷の手順を紹介します。

- 1 集計表の[印刷]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[プレビュー]をクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[印刷]-[プレビュー])

▼[印刷プレビュー]画面へ遷移します。



- 2 左側の[印刷設定パネル]に主な設定項目がまとめられています。グラフの印刷で利用できる項目は次のとおりです。

[印刷実行]ボタン	印刷を実行します。
[ページ設定]ボタン	印刷設定の詳細をタブ毎で設定します。(下表参照)
用紙の向き	縦/横を指定します。
印刷順序	上から下/左から右を指定します。
[テンプレート登録]ボタン	印刷/PDFで登録します。

また、[ページ設定]ボタンをクリックして表示される[ページ設定]ダイアログボックスの各タブで利用できる項目は次のとおりです。

用紙	用紙の向き(縦/横)の指定、印刷順序(上から下/左から右)の指定
余白	上下左右の余白設定
ヘッダー	ヘッダーを出力するページの指定、配置やフォントの設定
フッター	フッターを出力するページの指定、配置やフォントの設定
***集計表	グラフ出力(出力しない/出力する/グラフのみ出力する)の指定



グラフを[全画面表示]している場合、[***集計表]タブのグラフ出力は「グラフのみ出力する」が指定されます。

- 3 必要な設定を行った後、[印刷実行]ボタンをクリックして、印刷を開始します。
- 4 印刷設定の内容をテンプレート登録する場合は、[テンプレート登録]ボタンをクリックし、[印刷]もしくは[PDF]を指定して登録します。
- 5 [閉じる]アイコンをクリックして、[印刷プレビュー]画面を閉じます。
▼グラフ画面に戻ります。



登録された印刷やPDF出力のテンプレートを実行すると、[印刷プレビュー]画面ではなく、[印刷]ダイアログボックスや[PDFファイル出力]ダイアログボックスが表示され、印刷実行やPDFファイルの保存が行えます。